

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年 1月22日

【評価実施概要】

事業所番号	3470700356		
法人名	有限会社いのくち		
事業所名	グループホーム ゆかりの里		
所在地 (電話番号)	竹原市福田町1300-1	(電話) 0846-24-1287	
評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会		
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29		
訪問調査日	平成22年1月22日	評価確定日	平成22年2月15日

【情報提供票より】(平成22年 1月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 11 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	12 人	常勤 7 人, 非常勤 5 人, 常勤換算 9.5 人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 / 単独	新築 / 改築
建物構造	軽量鉄筋 造り	
	1 階建ての 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	105,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(315,000 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,500 円	

(4) 利用者の概要(1月15日現在)

利用者人数	9 名	男性 0 名	女性 9 名
要介護1		要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	2 名	要支援2	1 名
年齢	平均 86.2 歳	最低 74 歳	最高 95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	米田歯科医院・馬場病院
---------	-------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム「ゆかりの里」では、運営者と管理者及び職員が開所時より入居者一人ひとりを大切な人として向き合い、尊重した接し方と、思いや心情に寄り添った支援を行っている。入居者の健康面や医療面は、入居者の主治医や、協力医療機関との連携のもとで、広い分野のアドバイスが受けられ、ケアに活かしている。日々の暮らしの中で特に、食事は楽しく、美味しく食べることを重要視し、入居者と職員がともに季節や旬の物を手作りしながら、家庭的な雰囲気ですべてを食べている。ご近所と支えあう関係は着実に構築されており、頼られるホームとなりつつある。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価では主な改善課題はなかったが、開所して約6年が経過したのを捉えて職員全員で日常業務全般の見直しを検討されており、前向きな姿勢が伺えた。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者と管理者が調査の意義や内容を分かりやすく職員へ説明し、全職員が自己評価を行っている。自己評価を行なうことで、グループホームのケアのポイントや、支援の現状に対するの気づきがあり、努力すべき点などに活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議では、事業所の活動報告や行事の説明をし、意見や要望を聞いたうえで運営全般に亘って意見交換をしている。会議には、家族も参加して意見や思いを伝え、市担当者からも積極的なアドバイスがされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	面会に来られる家族には、日頃の様子を伝え、積極的に家族と話し合いながら意見を聞きだしている。家族の意見や要望は、直ちに活かせるように職員で話し合い、改善に取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	自治会に加入し、地域の一員として地区活動等に参加をしている。また、日常的に散歩や買い物に出かけ、近隣の人たちと挨拶を交わしたり、話をするなどしながら、馴染みの関係を深めたり、築いている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体法人の理念をもとに職員全員が話し合っており、入居者一人ひとりが地域のなかでその人らしく生活することを支える理念を作りあげている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホームの玄関に掲示し、また勉強会の際には理念について話し合いながら、日々のサービス提供場面において、理念が反映されているのかを確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、地域の役割も果たすように努めている。入居者と職員はともに地域のふれあいサロンや、行事に参加しながら、交流を深めたり、地域のなかで頼りになるホームを目指している。また、幼稚園児との交流も定期的に行っている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価を行い、管理者が中心となってまとめ、全職員がケアの方法やグループホームのあり方などを学び取り、質の向上につなげている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や地域の代表及び市担当者など幅広い立場の人が参加して、ケアの質などについて話し合っている。市担当者からも、積極的なアドバイスを受けている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	所轄の市より定期的に生活相談員がホームに来所した時や、市担当窓口に出かけて困難ケースの相談や、分からないことなどの指導を受けている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、広報紙を家族に送付し現在の報告をしたり、訪問時には写真や行事の際のビデオを見ていただいている。心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に限らず、きめ細かく報告がなされている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱や要望書を玄関に置き、家族へ呼びかけると共に、運営推進会議に参加して意見を出せるようにしている。家族等から得られた意見等は、ミーティングで話し合い、質の向上につなげている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が代わるときは、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	日常的に学ぶことを推進し、パートの職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がありますか。全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者と職員は、事業所外の研修に参加し、他グループホームの人材の意見や経験を参考にしながら、サービスの質の向上に励んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>本人と家族にホームの状況をみてもらい、相互に馴染みの関係ができてから、入居できるように支援をしている。また、入居希望者の思いを大切に、個別に合わせた対応をしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員は、人生の先輩として入居者から教えてもらう姿勢がある。日常的に支え合っていることが、入居者と職員の自然なコミュニケーションから伺える。職員は入居者の言動から、心情や思いをくみ取り、精神面での支援も大切にしている。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>常日頃から、職員全員が一人ひとりの思いや意向について感心を払いながら、入居者の何々したいというニーズの実現に取り組んでいる。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>ケアプランのための会議を開き、本人や家族の意見を大切に、全職員で意見を出し合い作成している。とくに精神面を汲み取ったプランを大切にしている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的モニタリングや評価を行い、状態の変化や本人と家族の要望を取り入り、随時計画の変更を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者一人ひとりの何々したいというニーズの実現に向けて、地域のさまざまな資源等との関係を深められている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居までのかかりつけ医を大切に、本人や家族の意見を聞きながら受診の支援をしている。母体法人が医療機関であり、健康面や医療面での受診は適切に受けられることができる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合の方針を設けており、本人・家族と話し合い、入居開始時に意向確認している。状態の変化により随時担当医を交えて話し合い、ケアに取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常日頃から、職員は言葉かけも命令口調にならないよう、配慮している。広報紙への写真や氏名についても、行く確認を行い、掲載している。入室時も、プライバシーを損なわないよう、ノックや声かけをしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的に1日の流れはあるが、一人ひとりの体調や気分を大事にしながら、好きなように過ごせる支援を行っている。地域の生き生きサロンや散歩等、一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に関する一連の作業は、入居者一人ひとりができることを自主的に行っており、力の発揮と楽しみとなっている。食事は、職員も同じテーブルを囲んで家庭的な会話を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、工夫をしながら支援を行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴から得意なことや好きなことを見出し、一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の入居者の状態や本人の習慣、有する力、希望等に応じて、散歩、買い物、地域の生き生きサロン等に出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵を掛けておらず、ホームの畑や玄関前の花壇など好きな所に出て過ごされている。部屋や廊下の掃きだし戸も全開し、閉塞感がなく、また、外に出て行きたいと理由や時間帯などを把握し、心理的な理解とケアを行っている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、定期的に近隣の方たちも参加して避難訓練を行っている。ホームの建物は平屋造りで避難がやすく、夜間も避難路が確保できるように工夫をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	常日頃から、入居者一人ひとりの体調や運動量、食べるタイミング、介助の方法や食器の工夫等、暮らし全体を通して食欲を促し、食が進むように工夫をしている。また、一日全体を通じた食事量・バランス、飲水量の確認もきめ細かく行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホームの中はゆったりとした空間で、入居者が居心地よく、自分なりの活動がしやすくなるような工夫がなされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、写真や使い慣れた日用品を傍らに置くなどし、また、個性や家族の思いを大切にして居心地良く過ごせるように配慮している。		

介護サービス自己評価基準

小規模多機能型居宅介護
認知症対応型共同生活介護

事業所名 グループホーム ゆかりの里

評価年月日 21 年 11 月 5 日

記入年月日 21 年 12 月 3 日

この基準に基づき、別紙の実施方法
のとおり自己評価を行うこと。

記入者 職 管理者 氏名 堂前可子

広島県福祉保健部社会福祉局介護保険指導室

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
----	----	---------------------------------	-------------------	---------------------------------

理念の基づく運営

1 理念の共有

1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている。	1 理念を掲げて支援している。 2 その人らしく暮らせるように理念ができている 3 地域に根ざしていると思う。		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	1 努力している 2 勉強会を通じて理念を再確認しながら実施していると思います。 3 社長、ホーム長の話で再認識している。 4 理念というものを耳で知っているが理解していない		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	1 玄関に理念を書いてあり家族にも分かる。 2 地域の行事に参加している。 3 ゆかりサロン、ふれあいサロンを通じて地域の方の理解が得られていると思います。		

2 地域との支えあい

4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	1 月に一度ふれあいサロンに参加して交流している。 2 近所に買い物に行ったり外出時挨拶をしている。 3 玄関を掃いているときに立ち話をする。		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	1 月に一度ふれあいサロンに参加している。 2 幼稚園の行事に参加している。 3 自治会の行事の参加している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	1 デイサービス		
3 理念を实践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	1 自己評価することで評価をいかして反省し、努力している。		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	1 巾ひろい人たちの参加(地域) 2 利用者、家族、地域の人、駐在所巾広い立場の人に参加してもらっている。		
9	市町との連携 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	1 介護相談の人が来られる。 2 介護相談と利用者の中で現場をわかってもらう。		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	1 1年間勤めて一回しか話し合っていない。		1 もっと話し合うべき 2 勉強会で勉強したい。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	1 勉強会、日常的なケアのなかで常に話し合い厳しく注意を払い防止に努めている。		1 虐待とは・・・が皆理解できていないその事について話あうべき。

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約する際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	1 契約時に説明		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらの運営に反映させている。	1 全体会議に利用者に参加してもらって意見を聞いている 月一回介護相談員と利用者の話し合い 2 利用者参加 その都度意見をもらう。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	1 月一回の報告(行事) 2 毎月生活の様子等月報告で家族に知らせている。 3 月一度の家族送付を通じて入居者の状態を伝えられています。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	1 文書の提出、家族の立場になる。		1 苦情については家族とじっくり話す
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	1 毎月の会議等で聞く体制である。 2 会議等話し合いをしている。 3 全体会議、申し送りなどで話し合いの場ができていると思います。 4 会議では、どうしても言いにくいことがある。		1 個々別々に社長など意見を聞くべき。それを解決していくべき
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている。	1 努めている 2 その都度その時の対応で職員の確保ができている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	1 努力し、配慮する。		
5 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	1 認知症介護実務者研修をうけ研修の報告をしている。 2 研修など参加		1 参加していきたい
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。			1 グループホームの集まり(市内)
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	1 休憩をとるように 2 趣味の充実 3 談話室で休憩を取っている		
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている。	1 心身の健康を保つための健康診断 2 していない		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている。	1 時間をかけてしっかり傾聴し安心するような声掛けをしている 2 不安をなくせるよう安心して過ごせるようにする 3 信頼関係を作るために一人ひとりの個性を理解しコミュニケーションの時間を大切にしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	1 状況を把握し話しをする 2 語家族からの相談があれば聞き、管理者へ報告していると思います。		1 お会いできるよう努力していきたい
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。			1 知識をもって対応
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気になら馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	1 好きな事、趣味等聞いてできる事やりたいことをやっていく。 2 馴染めるよう家族らと取り組む		
2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人を共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	1 本人の話を傾聴し、その人らしさをしり、喜怒哀楽を共にし信頼関係を作っている。 2 料理おしゃべりなどその人らしさを知り信頼関係を築く 3 一緒に過ごしながらか入居者からたくさんのかことをまなび、職員も入居者から支えられていると思います		
28	本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	1 状況をよくみて考え支えている 2 語家族の力をかりながらか本人を支援できていると思います。		
29	本人を家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	1 行事に(お花見)家族に参加してもらっている。 2 一緒に行事、食事に参加してもらっている		1 自宅での様子を聞く

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>1 入居者の話を聞き、馴染みの場所へ買い物に行ったりして関係が途切れないようにできていると思います。 2 馴染みの美容院、お店に行っている 3 親戚、友達等の来訪があり本人も喜ばれる。</p>		
31	<p>利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。</p>	<p>1 一人一人が孤立しないように人間関係をみながら配慮できていると思います。 2 役割を決め関係ができている。 3 おやつ時間は、スタッフも一緒に会話しながら食べている。利用者同士意見の違いを聞きトラブルにならないように気をつける</p>		
32	<p>関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。</p>	<p>1 対処後も訪問している 2 他の施設へ行かれた方の訪問がある</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</div>				
1 一人ひとりの把握				
33	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>1 一人ひとりの思い、希望を聞くようにしている。困難な場合でも一度は受容しそれから考える。 2 入居者の意志を尊重し可能な限り実施できるよう努められていると思います。3 何かあった時は本人本位</p>		
34	<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>1 何がして欲しいのか把握に努める。 2 家族、知人から聞く。これでよいことはない。</p>		
35	<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。</p>	<p>1 その人の出来る能力を見極めできる事を積極的に遣ってもらい自分は役にたっていると思ってもらう。 2 能力を見極めその時その時の対応をしている 3 一人一人の生活を記録し状態を把握できるように努められていると思います。</p>		1 しっかり把握

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	1 本人の家族の思いを取り入れてスタッフ間で共有し、必要なケアを計画にいかしている。 2 ミーティングをして継続できるようにしている。		
37	状況に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	1 臨機応変に対応して問題発生時はその都度ミーティングしている。 2 問題が起きた時臨機応変に対応している。		
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	1 介後記録、申し送りノートその時の対応で活かしている 2 日に2回の申し送りの時、問題が起こった事をスタッフ間で話し合い実践や計画の見直しに役立っている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	1 利用者と家族が安心して暮らせるように多機能を活かした支援をしている。 2 安心して暮らせるように支援している。		1 変化の状況を家族と共有していく
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	1 民生委員やボランティア警察、消防、教育機関等と協力しながら支援をしている。 2 民生委員、幼稚園、学校、取り組んでいる。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている。	1 シュートステイの利用		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	1 運営推進会議に参加してもらっている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している。	1 母体がかかりつけ医院なので適切な医療を受けている 2 かかりつけ医ある場合は、家族が連れて行っている。 3 入居者一人一人のかかりつけ医を利用しながら適切な医療が受けられていると思います。		
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	1 院長先生の紹介で診断や治療に行きやすく支援している。 2 他の医療機関の医師と連携が取れている		
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	1 看護師に来てもらっている 2 巻誤植と気軽に相談でき利用者の健康面、状態変化に応じた支援している 3 看護職員と連携を取ながら健康管理、医療活用の支援が出来ていると思います。		
46	早期退院に向けた医療機関と協働 利用者が入院したときに安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	1 入院中面会に行きダメージを少なくするように努力している 2 ダメージを防ぐため密にしている。面会など		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い全員で方針を共有している。</p>	<p>1 重度かした場合、家族、院長、ホーム長スタッフと話し合いその時の対応できるケアを説明する。 2 ドクターに確認をする</p>		1 研修、勉強会
48	<p>重度化や週末期に向けたチームでの支援 重度や週末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	1 できる範囲内での支援		
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに勤めている。</p>	1 ケアプラン、支援状況		
<p>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>				
<p>1 その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない。</p>	<p>1 言葉のかけ方、対応には十分気を付けている 2 言葉かけには気をつけて誇りやプライバシーを損なわないようにしているとおもいます。 3 気をつける</p>		<p>1 注意する 2 気をつけているつもりではあるが間違った言葉かけをしている時もあるかもしれない。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>1 納得してくれるよう説明 2 日常生活を通じて本人の思いを大切にしながら支援できていると思います。 3 納得できるよう説明している。</p>		1 スタッフの都合に合わせたケアでなく利用者の考えを中心にするケアを考える。
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>1 一人一人のペースを大切にしたい思いは常に持っているが、団体生活のため難しい時が多い。 2 一人一人に合わせたしえんをしていく</p>		<p>1 職員側の都合を優先している場合があるので一人ひとりの希望を大切に過ごして行きたい 2 自分よりも利用者が一番だと思い、ケアしていきたい。</p>

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	1 行きつけの美容室がある方は、ご家族の協力のもと行っている 2 ホームに美容師が来ているし、本人のきぼうの美容院に行く人もいる。 3 努力して行きたい 4 本人が望む店は家族が対応、美容師を呼んでいる。		1 なるべくなら近所であれば美容院での経験をしていただきたいが、金銭面等で難しい。許せる範囲で対応したい。
54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	1 無理強いせずこえかけを 2 利用者と職員と一緒に食べたいものを考え一緒に作り食事の片付けをしている。3 入居者と一緒に準備し食事片付けも出来ているとおもいます。4 常に利用者と一緒に見て味わうということをかかげてやっているが体調気分によって難しい。		1 少しでも何か(調理、片付け)に関わられるようこれからも声かけ支援に取り組んでいきたい 2 「やらされている」気持ちにならないような声かけに気をつける。
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	1 何でも皆と一緒にすることが多い。 2 おやつ、飲み物、好みの物を利用者に聞いている。 3 している		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	1 日中は下着とパットで 2 排泄チェック表を利用してパターンをつかむようにしていると思います。 3 排泄チェック表や尿量の多い方は大パットを使用し対応 4 排泄記録をチェックし行動している。		1 パット使用量を減らすよう排泄の声かけをする が本人の自尊心傷つける場合もあり難しい
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	1 一日おきに入浴してもらっている。本人が希望されると続けて入ってもらう。 2 本人の希望を聞きながら入浴できていると思います 3 臨機応変		1 スタッフの勤務時間もあり時間が限られてしまう部分もあるので時間帯は難しい場合もある。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	1 自室の休息はもちろん、又リビングにマットをひき常に同じ体制にならないように努力はしている。 2 状況に応じて休息できるように配慮できていると思います。 3 室温に気をつけている。一人一人の心身の状態に合わせて休んでもらっている。4 その人の意見を尊重		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々の過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	1 実施できていないと思う 2 買い物に誘って以前自分がしていた頃を思い出し楽しみかえて、気晴らしになる。 3 草取りや外出買い物など気晴らしになる支援をしていると思います。 4 能力に応じた役割、工夫して関わる。		一人ひとりの役割を私達が考えて支援する必要がある。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	1 各自小遣いを持って買い物している人もいる。 2 小銭程度を所持している利用者もいる。能力のある人には施設内のお金で支払いを頼んでいる。		
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	1 買物、ドライブ、散歩など外出している。(3名)		1 なかなか希望どおりは難しい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり支援している。	1 買物ドライブに誘い外出できる機会を作るように心がけている 2 日曜日の外出、日帰り旅行 3 レストランで外食		1 どんどん出かけた 1 個別でコーヒーを飲みに行ったり外食に出かける機会も時には取組んでいきたい
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自ら電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	1 自由に電話されている 2 できている 3 実施している		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	1 いつでも気軽に訪問されているし、入居者の方にお茶を入れてもらっている。 2 実施している 3 気軽に訪問できる環境である		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	1 身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 2 目指している		1 知らず知らずのうちにずっと長い時間車椅子座ったままの事もあるので気をつけたい。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	1 取り組んでいる 2 鍵をかけないことがホームの方針。安全を保つためにチャイムをつけて工夫している。 3 日中玄関、居室に鍵をかけることなくケアできている		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	1 入居者全員の居場所、何をしているか等意識している 2 入居者の所在や様子を頭に入れて安全に配慮している。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	1 包丁、はさみ、針危険なものは必ずもとの位置に収めている。 2 数の確認		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	1 ヒヤリハットの提出 2 事故防止に努めている。		
70	急変や事故発生の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的にしている。	1 防災訓練の時救急救命の心配蘇生法、AED の使い方全員が訓練している(2名) 2 定期的に行っていない(2名) 3 全体会議で勉強している		1 あわてないように定期的行なう

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身に付け、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	1年に1度防災訓練の実施。近所の方にも参加してもらっている。		1まだまだ近所の働きかけがいると思う
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている。	1家族の対応はホーム長、主任が行なっている。話し合った情報を報告してもらっている。その人のリスクについて話し合っている。		1一人で行かれる散歩も家族に了解してもらおうように話し合う。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	1 申し送り等気をつけている。地域には連絡済み 2 バイタル、健康観察でしっかり観察し異変に早く気づく、異変の時は院長に連絡している 3 体調変化や異変に気づいた際は報告し対応している		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	1 服薬時は本人手渡し、服用を確認する。 2 服薬時の確認 すぐ確認できるようにする 3 どんなものを服用しているか大体分かっている。症状の変化については院長、看護師に聞いて対応している。		1 薬について、一人ひとりのくすりの目的、副作用について勉強不足です 2 把握できていないところもある 3 全ての薬の名前、目的など理解してない、勉強したい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる。	1 食事内容、水分、運動 2 予防と対策のため牛乳を飲んでいる。食後のトイレ等取り組んでいる。		1 適度な運動が行なわれていない利用者の方も多いので身体を動かす取り組みをおこなっていく
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	1 毎食後必ず行なって口腔内の清潔に努めている。 2 歯科衛生士に来てチェックしてもらっている 3 夕食後は全員して入れ歯の洗浄をしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べれる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	1 栄養のバランスには気をつけている。1日の水分量1500ccは摂るようにしている 2 水分チェック表をつけて確認している、食事は、主菜、副菜を必ず作っている。 3 できている(チェック表記入)		1 入居者全員が1日の水分量が取れていないことがあるので気をつけていきたい
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり，実行している。(インフルエンザ，疥癬，肝炎，MRSA，ノロウイルス等)	1 実行している(インフルエンザ、ノロウイルス) 2 常に意識し手すりドアノブ、椅子を次亜鉛素酸ナトリウム希釈液で毎日拭いている(2名) 3 手洗い、うがいの励行、ワクチン接種、外来者の手洗い、うがい		
79	食材の管理 食中毒の予防のために，生活の場としての台所，調理用具等の衛生管理を行い，新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	1 台所の流しまな板毎晩消毒、食洗機内の洗浄 2 調理用具は毎日ハイター液で消毒。買いだめしないようにして常に新しい物を使う。 3 多量に作らない		1 時々冷蔵庫の中に賞味期限が切れている物がある。
2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族，近隣の人等にとって親しみやすく，安心して出入りが出来るように，玄関や建物周囲の工夫をしている。	1 鍵はかけず自由に出入り 2 道路に出る時注意している 3 スロープがありバリアフリーになっている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関，廊下，居間，台所，食堂，浴室，トイレ等)は，利用者にとって不快な音や光がないように配慮し，生活感や季節感を採り入れて，居心地よく過ごせるような工夫をしている。	1 音 注意している 2 玄関、トイレ、リビングに花を置いている。月に一回フラワーアレンジメント教室があり季節の花を生けている。利用者の部屋に飾ってある。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共有空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で 思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	1 玄関先の椅子、ソファ、畳コーナーで利用者同士お しゃべりをしている 2 工夫できている		1 畳コーナーがなかなか活用できず、時々物置にな っている。活用法を相談したい。
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使 い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせ るような工夫をしている。	1 居室は使い慣れたもの、好みの物思い出に残る写真、 お孫さんの写真など飾っている 2 本人の使い慣れた物を置いてい心地よく過ごされるよ う配慮している		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調 節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じ てこまめに行っている。	1 掃除の時換気している 2 加湿器を置いている 3 換気、温度調節に気をつけている。		1 こまめな換気は出来ていないと思う
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫している。	1 トイレ、風呂場には、自立した生活が送れるように手 ずりが付いてある		1 本人にとって「何が分かりにくいか」「どうしたら 本人の力でやっていただけるか」追求し、状況に合 わせて自立支援につなげる。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立し て暮らせるように工夫している。	1 一人ひとり出来る力を見極めながら自立して暮らせる ように支援している 2 自室は個々の個性を尊重し利用していただいている。		1 自分自身もっと入居者のことを知り力を生かせ たケアをしていきたい
87	建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるよ うに活かしている。	1 中庭に野菜を植えたり玄関で花を育てたり楽しめる環 境である。 2 畑の水やり、草取り、収穫の喜びを味わう 3 神明祭		1 建物の外周リの活用ができていない。